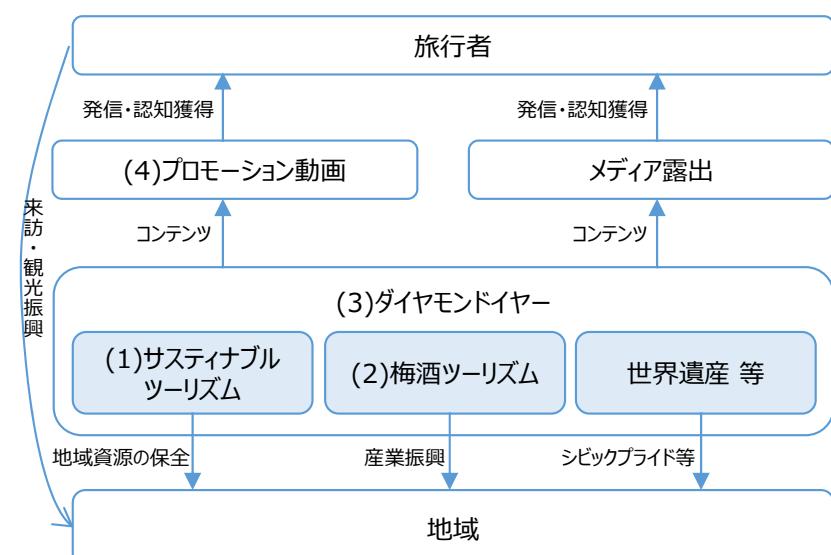


# 事業概要【観光を軸とした持続可能な地域づくり推進事業】

申請者	和歌山県田辺市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	76,631千円 (20,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産を核とした観光振興及び多様なツーリズムを加速させながら、それと連動して、本市の主要産業であり地域景観を形成する農業と林業に係る保全と活用を両立する観光コンテンツを造成する。</li> <li>観光を軸とした産業振興、景観保全を図るとともに、シビックプライド醸成、移住定住、雇用創出の循環を生み、持続可能な地域づくりにつなげる。</li> </ul>		
事業概要・主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p><b>【事業概要】</b>          植林や育林事業に係る森林体験コンテンツを開発し、観光客による森林保全を推進するとともに、国内外で人気の高い梅酒をテーマとしたツーリズムを造成し、耕作放棄地を活用した空間づくりや体験コンテンツ化を行い、国内外からの誘客及び外貨獲得を図る。また、ショートムービーの制作配信により各事業のプロモーション力を高め、ダイヤモンドイヤーを活かした本市の認知度向上と誘客促進に積極的に取り組むことで、本事業の将来的な自立を目指す。</p> <p><b>【主な経費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)サステナブルツーリズム推進事業 5,000千円 (委託料)           <ul style="list-style-type: none"> <li>①森林体験コンテンツの開発及び販売 ②人材育成</li> </ul> </li> <li>(2)梅酒ツーリズム推進事業 15,000千円 (実行委員会負担金)           <ul style="list-style-type: none"> <li>①梅酒を活用した周遊促進 ②梅酒を核とした情報発信</li> <li>③イベントの実施</li> </ul> </li> </ul>  <pre> graph TD     Traveler[旅行者] -- "発信・認知獲得" --&gt; PromotionVideo[(4)プロモーション動画]     Traveler[旅行者] -- "発信・認知獲得" --&gt; MediaExposure[メディア露出]     PromotionVideo -- "コンテンツ" --&gt; DiamondUser[(3)ダイヤモンドイヤー]     MediaExposure -- "コンテンツ" --&gt; DiamondUser     DiamondUser -- "地域資源の保全" --&gt; Region[地域]     DiamondUser -- "産業振興" --&gt; Region[地域]     DiamondUser -- "シビックプライド等" --&gt; Region[地域]     Region[地域] -- "来訪・観光振興" --&gt; PromotionVideo     Region[地域] -- "来訪・観光振興" --&gt; MediaExposure   </pre>		
KPI  (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光入込客数 (+2,100,000人)</li> <li>②森林体験コンテンツの販売数 (+50人)</li> <li>③梅酒ツーリズム商品の販売数 (+250人)</li> <li>④耕作放棄地・植栽放棄地の活用件数 (+13件)</li> </ul>		

# 事業概要【地域の魅力発信から未来へつなげる若者交流創出プロジェクト】

申請者	和歌山県田辺市	初回採択回	令和7年度第1回募集		
事業計画期間	R7-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	56,600千円 (36,600千円)		
経費の類型	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点整備事業 <input type="checkbox"/> インフラ整備事業 <input type="checkbox"/>	事業分野	地方への人の流れ分野		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民と大学生が交流できる機会を創出し、関係人口の創出・拡大につなげるとともに、地域活動の実践者の増加を図る。</li> <li>ヒト・コトにフォーカスしたプロモーションにより関係人口の拡大・創出・深化を図りつつ、市内の高校生などの若年層も関わることで相互の地域理解を深め、市内若年層の地元回帰向上も図る。</li> </ul>				
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p><b>【事業概要】</b>          大学生誘客事業として、ステークホルダーと連携し、地域特性を生かしたフィールドワークプランを開発・PRすることで、大学側の本市に対する関心を高め、関係人口の創出・拡大につなげる。また、シティプロモーション事業として、首都圏・近畿圏在住者や本市にゆかりのある若者層等を対象とした関係人口創出講座を実施するとともに、メディアとも協働を図り、より広く本市の魅力の情報発信を行う。</p> <p><b>【ソフト事業経費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生誘致促進事業 プラン作成、PR活動、プラン参加者へのサポートに係る経費（委託料）7,000千円</li> <li>・シティプロモーション事業 講座の実施に係る経費（委託料）4,800千円 メディアを活用した情報発信・PRに係る経費（役務費）21,500千円 （委託料）3,300千円</li> </ul>				
地域の多様な主体の参画	<p>大学生誘客事業では、大学と共同でフィールドワークプランを開発し、地域商社・DMO、地元企業、地域住民が連携して受入れに関する調整を行い、大学・地域住民がともに課題解決等に取り組む。シティプロモーション事業では、講座の参加者に対し、地域商社・DMO、地元企業は地域の産業、現状を伝えながら必要に応じ伴走し、政策金融機関は助言を行う。</p>			<p><b>KPI</b> ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①本市への転出超過数 (-146人)</li> <li>②本事業で開発したフィールドワークプランを通じ、地域、事業者と関わった人数 (+120人)</li> <li>③本市が行う関係人口の施策を通じての地域活動の実践者 (+270人)</li> </ul>